

ドイツ・ETFバランス・ファンド

愛称: プラチナコア

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次報告書



設定・運用: ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

ファンド概況

基準価額・純資産総額

基準価額 13,750円

純資産総額 4.7億円

税引前分配金実績 (一万口あたり)

第1期 2018年10月 0円

第2期 2019年10月 0円

第3期 2020年10月 0円

第4期 2021年10月 0円

第5期 2022年10月 0円

設定来累計 0円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<決算日>

原則として毎年10月7日とします。

但し、当該日が休業日の場合は、翌営業日を決算日とします。

基準価額変動の要因分解

対象期間: 2023年4月3日～2023年4月28日

基準価額の変動金額 179

株式部分 36

債券部分 8

為替部分 139

分配金 0

信託報酬その他部分 -4

注)各資産クラスの組入ETF毎の要因分解です。
※金額は、対象期間における基準価額の変動を表したものです(円未満を四捨五入)。
※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

運用実績

設定来の基準価額の推移



(設定日)

※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。ただし、設定来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

※基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。

騰落率 (税引前分配金込)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.32%	3.52%	-0.91%	2.67%	38.61%	37.50%

ポートフォリオの状況

資産クラス別構成比及び寄与(円)

資産クラス	ファンド名	比率(%)	寄与(円)
株式	Xトラッカーズ MSCI ワールド UCITS ETF	49.6%	36
	iシェアーズ・コア・グローバル・アグリゲート・ボンド UCITS ETF	49.2%	8
現金等		1.1%	-

※比率は純資産総額を100%として計算しております。

組入ファンドの月間騰落率

資産クラス	ファンド名	騰落率(%)
株式	Xトラッカーズ MSCI ワールド UCITS ETF	0.52%
債券	iシェアーズ・コア・グローバル・アグリゲート・ボンド UCITS ETF	0.14%

※騰落率は、ETFの通貨で計算しております。

株式

順位	国別構成比率	比率(%)	通貨別構成比率	比率(%)
1	アメリカ	69.45%	アメリカ・ドル	67.74%
2	日本	6.16%	ユーロ	9.71%
3	イギリス	3.44%	日本・円	6.16%
4	カナダ	3.25%	イギリス・ポンド	4.46%
5	フランス	3.16%	カナダ・ドル	3.41%

債券

順位	国別構成比率	比率(%)	通貨別構成比率	比率(%)
1	アメリカ	30.66%	アメリカ・ドル	38.75%
2	日本	13.67%	ユーロ	24.16%
3	中国	10.35%	日本・円	13.15%
4	フランス	5.60%	中国・元	9.78%
5	ドイツ	5.23%	イギリス・ポンド	4.40%

※比率は純資産総額を100%として計算しております。

ドイツ・ETFバランス・ファンド

愛称: プラチナコア

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次報告書



設定・運用 : ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

ファンド・マネジャーのコメント

【投資環境】

世界株式市場で株価は上昇しました。冴えない経済指標が散見され景気に対する警戒感がくすぶっていたことや、下旬には米地銀の預金流出により金融システム不安が再燃したこと等が相場の重石になりました。一方、中国経済が持ち直していることや、米国の大手金融機関やハイテク企業が良好な決算を発表したこと等が株価を押し上げ、前月末比プラスで月を終えました。

主要国の10年国債利回り(長期金利*)は、米国では小幅低下(価格は上昇)、欧州(ドイツ)は前月末比でほぼ変わらずとなりました。米国では、月央の銀行の決算発表を受けて信用不安が和らいだことから、市場のリスク回避姿勢が後退し、長期金利は上昇しました。一方で、月末にかけては、米地銀の預金流出等が嫌気されたことや、一部の米主要経済指標が軟調だったことを受けて長期金利は低下しました。欧州では、月初は、景気減速懸念等を受け金利は低下しました。その後は当局者によるタカ派的な発言を受け、欧州中央銀行(ECB)理事会による追加利上げが意識されて金利は上昇しました。

*金利: 債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

※コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しております。

※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

ファンドの特色

- 1 主に日本を含む先進国の株式及び債券に分散投資を行います。
- 2 株式と債券の配分比率については、均等とすることを基本とします。
- 3 2つの資産クラスへの投資にあたっては、それぞれの投資対象資産の代表的な指数の動きに連動させることを目指した上場投資信託証券(ETF※)に投資を行います。

資産クラス	投資対象 ETF
株式	Xトラッカーズ MSCI ワールド UCITS ETF
債券	iシェアーズ・コア・グローバル・アグリゲート・ボンド UCITS ETF

(注1) 上記は本書作成日現在の投資対象ETFに関する情報です。投資対象ETFは、今後変更となる場合があります。

(注2) 2つの資産クラスの配分比率が均等から一定以上乖離した場合には、調整を行います。

※ETFとは、Exchange Traded Fundsの略称で、金融商品取引所に上場されている投資信託です。

- 4 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

(注) 市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

① 株価変動リスク

株価は、政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

② 金利変動リスク

債券価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

③ 信用リスク

株価及び債券価格は、発行者の信用状況等の悪化により下落することがあり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

④ 為替変動リスク

外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

⑤ カントリーリスク

投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合等には、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

⑥ 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

ETFへの投資にあたっての留意点

当ファンドが投資するETFには、対象指数を構成する銘柄に直接投資を行わず、スワップ取引を用いて、対象指数に連動した投資成果を目指すETFが含まれる場合があります。スワップ取引においては、スワップカウンターパーティの信用リスクが存在します。なお、スワップ契約の多くは契約担保の提供をスワップカウンターパーティに求める内容となっており、万が一スワップカウンターパーティが破綻しても、受け入れた担保を換金することで損失が軽減される仕組みとなっています。

※スワップカウンターパーティとは、スワップ取引の契約の相手方のことをいいます。



投資リスク

その他の留意点

- ・ 当ファンドの資産規模に対して大量の購入申込み(ファンドへの資金流入)または大量の換金申込み(ファンドからの資金流出)があった場合、基準価額の変動が市場動向と大きく異なる可能性があります。
- ・ 当ファンドは、大量の換金が発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。
- ・ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ドイチェ・ETFバランス・ファンド

愛称: プラチナコア

追加型投信/内外/資産複合

月次報告書



設定・運用 : ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

お申込みメモ

- 申込締切時間/ 購入・換金申込 受付不可日
原則として、販売会社の営業日の午後3時までに購入申込み・換金申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。ただし、フランクフルト証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに該当する日には、受付を行いません。
- 購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 購入単位
販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
- 信託期間/
線上償還
信託設定日(2017年12月15日)から無期限
- 決算日
ただし、受益権の口数が50億口を下回ることとなった場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
- 収益分配
原則として毎年10月7日(休業日の場合は翌営業日)とします。
年1回の毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。
ただし、必ず分配を行うものではありません。
(注) 将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
- 換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 換金単位
販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
- 換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
- 課税関係
課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。
原則として、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して課税されます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。
(注) 法人の場合は税制が異なります。税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。
非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度(つみたてNISA)の適用対象です。

ファンドの費用

時期	項目	費用
投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	ありません
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.1%を乗じて得た額
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用(信託報酬)	実質的な負担(①+②) ①当ファンド ②投資対象ETF
		年率0.4035%±0.01%(税込/概算)* 信託財産の純資産総額に対して年率0.2585%(税抜0.235%) 実質年率0.145%±0.01%(概算)*
	その他の費用・手数料	当ファンド及び組入ETFにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、組入資産の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、管理報酬、租税等(ETFがスワップ取引を通じて負担するものを含みます。)がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。ただし、これらの費用のうち当ファンドの信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率0.10%を上限とします。 *「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。

*概算値のため、当ファンドにおける実際のETFの組入状況等によっては変動することがあります。

※収益分配金を再投資する際には購入時手数料はかかりません。

※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

※投資者の皆様が生じる費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人

- 販売会社: 当ファンドの募集の取扱い等を行います。投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。販売会社につきましては、委託会社にお問合せ下さい。
- 委託会社: ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図等を行います。
ホームページアドレス <https://funds.dws.com/jp/>
- 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社
信託財産の保管・管理等を行います。

ご留意事項

投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はおお客様自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。

■当資料はドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。■当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。また、使用しているデータについては特段の注記の無い限り、費用・税金等を考慮しておりません。■当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。■投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、すべて投資信託をご購入のお客様に帰属します。■投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。■登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

ドイチェ・ETFバランス・ファンド

愛称: プラチナコア

追加型投信 / 内外 / 資産複合

月次報告書



設定・運用 : ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドの販売会社は以下の通りです。

(五十音順)

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会				備考
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第61号	○	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第2251号	○	○	○	○	インターネット販売限定
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○		○	○	
株式会社SBI新生銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第10号	○		○		委託金融商品取引業者: 株式会社SBI証券 マネックス証券株式会社
損保ジャパンDC証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第106号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	